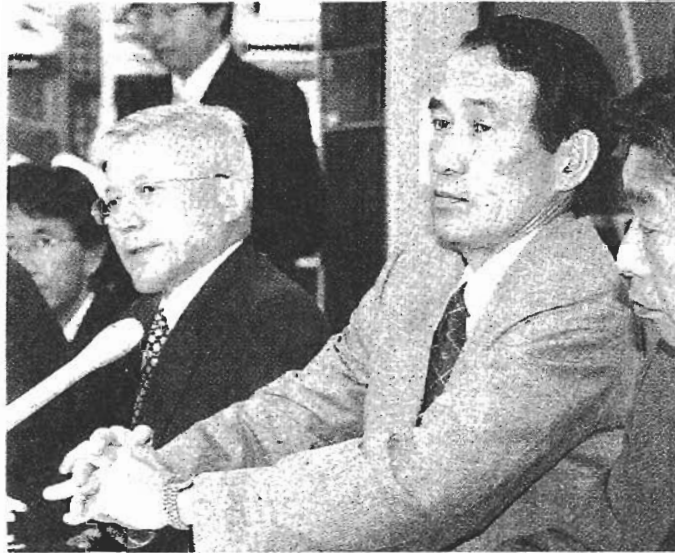


経営を悪化させた 「エリート」と「お飾り」

緊急連載
第4回

石原銀行暴走の元凶



仁司氏(左)
と森田氏

「中小企業向けの融資って
いうのは、地べたをはうよ
うなドブ板営業。エリー
トの方々には、経営者の
顔を見て判断するノウハウ
はないし、最初から無理だ
った」
開業時から新銀行東京と
取引のあった金融関係者
は、役員たちの経歴を見て

石原のお友達も2人

すぐに、暗い将来を予想し
たという。

歴代の取締役と執行役は
合計28人。そのうち、諸悪
の根源とされている旧経
営陣(執行役)は、大企業
出身者ばかりなのだ。仁司
泰正・元代表執行役は言わ
ずと知れたトヨタ出身。他
に並ぶのは「メルル」「み
ずほ」「日銀」「政投銀」
「住友」「長銀」。

金融のプロとはいえ、中
小企業相手に商売をした経
験など、ほとんど皆無だろ
う。銀行のイロハを全く知
らないシロウト社長の下、
中小企業融資のシロウト役
員が旗を振る。行員にもエ
リートが少なくなかった。
「融資実績が上がらず焦り
まくり、開業から半年以上
たつて慌てて借金や地銀経
験者を中心に70人を営業部
隊として中途採用したんで
す」(前出の関係者)

2代目代表執行役の森田
徹氏は、りそな国有化時の
引責辞任で苦渋を味わった

人物。「パンカ
ーとして完全燃
焼したい」と最
初は張り切っ
ていたが、病気の
ためわずか5カ月で退任し
た。

一方、取締役はタダの
お飾りだった。初代の
取締役会議長は、仁司氏同
様、財界ルートの推薦。旧
大蔵官僚や東京地検の検事
など、まるで役所の審議会
メンバーみたいだ。そのう
え、島海蔵氏と梶原徳二氏
は石原とは一橋大の同窓。

石原お得意の「お友達入
事」である。

東京都が議会に提出した
資料によれば、役員の平均
年収は1100万円。

「取締役は社外のため50
0万円600万円だったの
で、執行役は1500万円
前後だろう。仁司さんは代
表だから2000万円以上
もらっていたんじゃない
か」(新銀行関係者)

金融機関の給料としては
多すぎる額ではないだろう
が、ここは大赤字企業であ
る。

それにしても……。こん
な面々を選んだ石原の責任
は、やはり追及されるべき
だ。過去の都議会の局長答
弁にこんなくだりがあるこ
とを、11日の予算特別委員
会で共産党が指摘してい
た。

「代表執行役を含め、役員
候補者は、当時の銀行設立
準備担当部署において候補
者を決めた上で、最終的に
知事の了承を受けた」
石原は絶対、逃げられな
い。

(つづ)

新銀行東京 歴代役員

役職		時期	経歴
取締役会議長	森 昭彦	04.6～07.6	日本地震再保険常務／東京海上副社長
	大塚俊郎	07.6～	東京都（副知事）
取締役	石川達紘	04.6～	弁護士／東京地検検事正
	北村歳治	04.6～07.6	早稲田大学大学院教授／大蔵省審議官
	大東正躬	04.6～06.6	あずさ監査法人
	鳥海 巖	04.6～07.6	東京国際フォーラム社長／丸紅会長
	細渕 清	04.6～06.6	多摩都市モノレール社長／東京都（議会局長）
	鹿島博之	06.6～07.6	東京地下鉄監査役／東京都（金融担当部長）
	梶原徳二	06.6～	カジワラ会長
	村田守弘	06.6～	公認会計士・税理士
代表執行役	仁司泰正	04.6～07.6	トーメン副社長／豊田通商常勤監査役
	森田 徹	07.6～07.11	りそな銀行常務
	津島隆一	07.11～	東京都（港湾局長）（新銀行設立本部長）
執行役	浦勇和也	04.6～05.1	メリルリンチ日本証券
	大塚宗一	04.6～	王子信金
	小佐々大造	04.6～06.3	みずほコーポレート銀行
	坂田秀三	04.6～06.6	日本銀行
	武見活充	04.6～06.6	日本政策投資銀行
	徳田 一	04.6～06.12	住友銀行
	市川英明	05.6～07.6	長銀
	有吉 純	06.6～07.6	
	近藤三千哉	06.6～07.6	長銀
	丹治幹雄	06.6～07.6	長銀
	岡田 至	07.6～	東京都（管理団体改革担当部長）
	上村憲生	07.6～07.12	オリックス
	大口智文	07.11～	内部昇格
	奥住良一	08.3～	内部昇格
	原田博文	08.3～	内部昇格

※銀行開業は05.4、太字は現職。網かけは取締役兼務（敬称略）